

第1回 南アルプス市総合計画審議会 議事録（要旨）

日時： 令和5年9月22日(金) 午後7時30分

場所： 南アルプス市役所 本庁3階 大会議室

出席： 19名

欠席： 3名

事務局： 南アルプス市(金丸市長、櫻本総合政策部長、依田総合政策部理事 ほか3名)

公益財団法人山梨総合研究所

(次 第)

1. 開 会

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

4. 委員紹介

5. 役員選出

6. 会長・副会長あいさつ

7. 議 事

(1) 「計画の概要」について【資料1】

(2) 総合計画策定スケジュールについて【資料2】

(3) 総合計画策定に関する市民意識調査(案)について【資料3】

(4) その他

8. その他

9. 閉 会

(配布資料)

(1) 第2次南アルプス市総合計画 概要版

(2) 第2次南アルプス市総合計画

(3) 第2次南アルプス市総合計画 後期基本計画

(4) 南アルプス市総合計画策定条例・策定条例施行規則・審議会条例【資料1】

(5) 南アルプス市総合計画策定スケジュール(案)【資料2】

(6) 第3次南アルプス市総合計画の策定に関する市民アンケートへのご協力のお願い(案)
【資料3】

1. 開会

櫻本総合政策部長：本市の総合計画は、令和7年度から新たな計画期間となる。今年度、来年度の2ヵ年をかけて、皆さまには策定に向けご協力いただくことをお願いし、開会とする。

2. 委嘱状交付

3. 市長あいさつ

金丸市長：委員の皆様には、公私ともにお忙しい中、本市の総合計画審議会委員を引け受けていただき、厚く御礼申し上げます。

本市は平成15年に合併し、今年で20年の節目の年を迎えている。本市の市政運営の最上位計画にあたる総合計画についても、令和6年度に第2次総合計画の計画期間が終了することから、令和7年度から、次の10年間を見据えた新たな総合計画の計画期間となる。

皆様もご存じのとおり、本市を取り巻く環境は、大きな変化の時期を迎えている。新山梨環状道路、中部横断自動車道南部区間の開通、南アルプスインターチェンジ周辺の開発、更に先にはリニア中央新幹線の開通も控えている。

常々、南アルプス市は大きな可能性を秘めた地域であると感じている。委員の皆様と一緒につくり上げる、今回の総合計画の10年間は、本市の大きな可能性を開花させる意味において、非常に重要な期間だと認識している。

委員の皆様には、是非とも、本市に関係する全ての方々が、市のこれからの将来に夢や希望をいただき、そして、目指すべき「道しるべ」となるような計画となりますよう、ご意見、ご提言のほどお願いしたい。

4. 委員紹介

5. 役員選出

司 会：南アルプス市総合計画審議会条例第5条第2項において、会長・副会長は委員の互選によって定めるとしているが、異議がなければ事務局より案を提出させていただきたい。

(異議なしの声)

司 会：事務局案として、会長を今井 久 氏、副会長を中澤 豊一 氏、新津 正彦 氏ということで、事務局から提案したい。

全 委 員：「異議なし」と、拍手をもって全会一致で了承。

6. 会長・副会長あいさつ

今井会長：南アルプス市の総合計画は、市長から最上位に位置する計画だと話があった。

先程、名簿を拝見したが、南アルプス市の重要な面々が揃っている。私は唯一市外からの参加となるが、市外の参加者なので、客観的に皆様の意見を集約し、自身の意見を述べたいと考えている。南アルプス市と縁があり、父方の祖父が甲西町出身でルーツは南アルプス市にあるので、そのような縁を含め、尽力をさせていただきたいと思う。

中澤副会長：大役を仰せつかり緊張している。先程、市長の話であったが、これからの南アルプス市をどのように持っていくか、大きな変革の時を迎えると私自身は思っている。私は農協という立場から、基幹産業である農業が、今後どのように計画とリンクして市が良くなっていくのか、そこを中心に意見が出せればと思う。今井会長を少しでも助けていきたいと考えている。

新津副会長：副会長の大役に大変緊張している。市長から話があったが、コーセーがあり、コストコの出店、来月はヒカレヤマナシが着工予定と、この町はすばらしい発展が約束されていると言っても過言ではない。南アルプス市の総合計画が中心となり、この町が素晴らしい町になるよう、住む人が幸せになる町になればと思う。市長が長崎知事とタッグを組み、一生懸命に頑張っている。私たちも全面的に応援したい。

7. 議事

司 会：議事進行は、今井会長にお願いする。

(1)「計画の概要」について

今井会長：(1)「計画の概要」について、事務局に説明を求める。

事務局：(資料1、現行計画概要版、に基づき説明)

今井会長：条例に関すること、現行の総合計画の概要ということで説明をいただいた。委員から確認事項・質問はあるか。

今井会長：資料1の1ページ目で、南アルプス市総合計画策定条例が平成25年、6ページにある南アルプス市総合計画審議会条例が平成15年とあるが、審議会条例の方が先にできたという認識でよろしいか。

竹野委員：審議会条例が先である。法令が改正されてから総合計画の設置義務が無くなった。その際に総合計画策定条例を作り直した。

今井会長：他に発言を求める。

(発言なし)

(2)総合計画策定スケジュールについて

事務局：(2)総合計画策定スケジュールについて、事務局より説明を求める。

事務局：(資料2、南アルプス市総合計画策定スケジュール(案)、に基づき説明)

今井会長：委員から確認事項・質問はあるか。

竹野委員：質問ではなく、要望になるが、このスケジュールに成果指標の評価とあるが、他のスケジュールがほとんど終了している段階だと思う。市民にとって一番わかりやすい総合計画の評価としてマネジメントサイクルを回すには、成果指標が一番見やすいと思われる。指標で10年間のトータルの評価は出せると思うが、目標値に対してマイナスであり、ただ目標が達成できなかった、といった評価で終わると理由が解らなくなる。目標値に対して乖離が大きいような数字は、目標設定が悪かったのか、数値を過剰に設定したのか、原因を細かく分析しないと市民の方は分かりづらい。別建てで作成して市民に公表していただきたい。

竹野委員：もう一点、次期総合計画に成果指標を付けるのか、付けないのか、現段階ではわからないが、付けたとした場合、事業の方向性が変われば指標も当然変わると思う。目標に達成しなかった指標について、指標を変えたり、指標を載せないとなると、最初から要らなかったのでは、という議論になるかと思うので、その理由については明らかにしていただけると市民が納得すると思う。

今井会長：次回の審議会が11月下旬で、その際に事務局の方で現行計画の検証の際に、計画で目標を達成していなかったのは何故かというところが盛り込まれると思われるが、しっかりやってほしいと、念を押すということよろしいか。

竹野委員：そのとおり。

今井会長：もう一点について、KPIを作ってくださいということよろしかったか。

竹野委員：ここで第3次に指標が載らなかった場合、何故その指標が駄目だったのか、きちっとしておかないといけない。

今井会長：計画が変わったら、目標も変わる。11月の審議会の折に、検証、これまでの計画がどうであったかについて、データを基にご意見をお聞きした方が良いということで、それを基に年明けに詰めていくことになる。

今井会長：他に発言を求めらる。

(発言なし)

(3)総合計画策定に関する市民意識調査(案)について

今井会長：(3)総合計画策定に関する市民意識調査(案)について、事務局より説明を求めらる。

事務局：(資料3、第3次南アルプス市総合計画の策定に関する市民アンケートへのご協力をお願い(案)、に基づき説明)

事務局：問1および問16は、今後守り伸ばしていく南アルプス市、また南アルプス市の将来像として使われるキーワードとなるので、非常に重要な設問となっている。委員の皆様には是非ご意見をいただきたい。

今井会長：問1の回答が3つまでというのは難しい。説明は終わったが、委員から確認事項・質問はあるか。

折居委員：アンケート調査はこの会議の前にやって、この会議では内容を検討するという会議で

はないのか。以前シティプロモーション戦略に参加したが、何百万のお金をかけて、プロが調査を行い、現状と課題、施策案など色々なものが出来上がっているのに、何のためにアンケートを取るのか理解できない。

今井会長：私の認識になるが、今日が審議会の立ち上げで、次回アンケートの結果を取って皆様からご意見を聞くというスケジュールである。質問では既に何かやっていたということだが、事務局から回答を求める。

事務局：シティプロモーション計画でのアンケートということだが、今回のアンケートは市の総合計画に関するものであり、シティプロモーション計画の更に上位の計画について、アンケートを実施するものである。設問や項目も変えてあり、総合計画に直接関係する部分のアンケートを取ることをご了承いただきたい。また、アンケートを事前に行い、分析した上で会議を行うという進め方もあると理解しているが、今回のアンケートについては、事前に審議会へかけ、審議会委員から意見を聴取すべきだと、ご意見をいただいているので、このような形を取った。

折居委員：アンケートを取ることが悪い訳ではないが、この場合のアンケートは感覚として、結果を取って会議に出すくらいで良いと考える。皆様にアンケート内容を検討してもらう会議ではないのではないか。

今井会長：本日がキックオフで、今日を含め年間で4回やると、まずは主旨を理解していただき、アンケートを取り、その結果と現行計画の検証というのが次回の日程である。そのように予定を組んだと理解していただきたい。

竹野委員：このアンケート自体は満足度調査が入っていて、私の認識では毎年満足度調査をやっているが、時系列的に追うためには、毎年の分が入っているのではないかと思う。整合性のあるないは引っかかるが、それを時系列で取っているのではないか。

今井会長：このアンケートは、発言のあったものと違うという認識である。今回の総合計画に関して一番適している事を聞きたいということで、このようなアンケートになったと思われる。ただひとつ、これは国のアンケートというか、評価基準という話であるが、他にやっている地域があった時に、結果の比較ができるか。

事務局：可能である。

竹野委員：毎年取っている満足度とは、内容が違うということか。

事務局：市民アンケートを、毎年実施して時系列で取っているが、それとは主旨が異なるものとして、市民アンケートを意識調査として取らせていただく。先程会長から話があったが、設問2の地域の満足度・重要度・幸福度を取る場合、今回は国のウェルビーイング指標を用いて、本市の33施策の満足度とリンクさせる形でアンケートを取らせていただくので、全国の他自治体との満足度調査の比較、本市33施策の実際の満足度・重要度からみた成果を確認するため、総合計画に特化した内容であると、ご理解いただきたい。

戸栗委員：アンケートの内容でお伺いしたい。5 ページの地域における幸福度について、問5だけ

「わからない」という項目があるが、何故この設問だけ「わからない」があるのか疑問である。理由をお伺いしたい。

山梨総研：問5については、問5以外の設問は基本的に自分自身のことを尋ねている設問になる。自治会に関する設問は、自治会と直接関わっていない方もいるので、ある意味で他人の事なので、そこは「わからない」という回答が出てくる可能性がある。

有野委員：問1について、例えば「性別、国籍に関わらず誰もが暮らせるまち」というのは素敵ではないか。それが入っていないので、入れてはどうか。

今井会長：多様性ということか。

有野委員：多様性ということだが、多様性では分かりづらい、そのような表現を盛り込むことが時流となっており、誰もが求めていると思われる。

事務局：表現を含め、設問に加えることを前向きに検討する。

深澤委員：今回調査に協力していただく方は、市内にお住いの18歳以上から2,000人を無作為に選ばせていただくとするが、これは各地区から無作為に何名かを選ぶのか確認したい。また、最後の10ページに「あなたのお住いの地域はどこですか」とあるが、これは地域性を考えてどこですかと聞いているのかと思うが、選ぶ際に各地域から無作為なのか、市内全域から無作為なのか。

事務局：旧町村の人口割合に基づき、2,000人を案分して無作為に抽出する予定である。ただし芦安地区だけは、現在の住民の人数を案分すると少なくなるので、少し増やした状態で実施を考えている。

竹野委員：性別の部分で、選択肢4に「答えたくない」を追加するべきではないか。

事務局：委員発言の踏まえ、検討する。

竹野委員：もう一点6ページ問7の表題で、ここは自治会への参加状況を聞いている訳ではない。自治会の役割が表題ではないと思われる。

事務局：今ご指摘いただいたように、参加状況ではなく役割の方が、設問に適しているということと理解し、そのように訂正する。

今井会長：その他、気が付いた点があれば、数日中であれば意見は大丈夫か。

今井会長：国の指標がベースで、意見も出ており、ここである程度確定をしたい。

事務局：アンケートは今日お持ち帰りいただき、可能であれば週明けの25日までにご意見いただきたい。修正箇所は、改めて送付させていただき、承認をいただく。

今井会長：当局側が聞きたい内容の主旨もあると思うので、全てがご意見のとおりにならないと思われるが、そこはご了承いただきたい。

沢登委員：問2のアンケートで「非常にあてはまる」が1点で「全くあてはまらない」が5点となっているが、数字が小さい方から大きい方へ、この集計の仕方もあると思う。また5ページの「とても不幸だ」が0点で、「満足している」が10点と、評価の仕方は大変だと思うが、同じように点数が大きければ良い評価であると思う。

事務局：先ほど申し上げた、国のウェルビーイング指標の様式とリンクしている形式を取ってい

るが、この評価方法について山梨総研から補足があればお願いする。

山梨総研：ご指摘いただいた点について、専門的な話になるが、結果は定量的に評価をしていくことになり、「非常にあてはまる」が一番高い点数となって、「全くあてはまらない」が一番低い点数となる。アンケート票では便宜的に1～5としているが、指摘を踏まえ、この数字の部分の修正は改めて検討する。

今井会長：数字の集計に関しては問題ないと思うが、方法に関してはご指摘通りで、問2に関して「当てはまる」の数字が小さく、問3については「幸せ」なほど数字が大きいことから、回答する側が勘違いしないようにしないとならない。

川村委員：問14の、これからの農地の方向性ということで、遊休農地が随分と増えている現状である。そこで設問の中に、活用方法で農協などに委託するなどの選択肢を追加できないか。その他具体的に記入してください。という欄だと皆様考えるところがあると思われる。

事務局：主旨は、市全体の農地をどうするかという方針を問うもので、今回の質問と若干趣旨が異なるものになることから、別の農業分野の計画、今後作っていく総合計画の意見として、反映できればと考える。設問に加えるかどうかは検討をさせていただくが、農協でという部分とは、一線を隔して進めていきたいと考える。

川村委員：農協でなくてもいいが、どなたかに委託したいとか、農地はそのまま有休農地ではなく、活用できる方に、作っていただける方に任せたい、そのような設問ができたら欲しい。北杜市は、都心から来て農業をやりたいという方が随分増えている。南アルプス市でも、都心から来て農業やりたいという方に後継者がいない農地をうまく結びつけることができるような設問があっていいのではないかな。

事務局：今の主旨を踏まえ、事務局としての考え方も整理させていただく中で、そのような設問を加えるか検討し、結果をお知らせする。

今井会長：他に発言を求めらる。
(特になし)

(4)その他

今井会長：(4)について、発言はあるか。
(特になし)

今井会長：予定されていた議事は全て終了とする。

8. その他

司 会：8. その他として、事務局より次回日程についてご案内する。

事務局：アンケートについて、ご意見をいただきありがとうございました、今後はスケジュール通り進めさせていただく。

9. 閉会

司 会：閉会のあいさつを新津副会長にお願いしたい。

新津副会長：色々な意見が出たが、この市の将来を思っただの発言だと理解している。先程話が出たが、イオンができ甲府から昭和町へと、南アルプス市にコストコができることで、人口が南から西へと増えている印象である。またヒカレヤマナシ、噂ではコストコの北に別店舗も出るようだが、そうなると山梨県の重心が西へと移り、南アルプス市が中心となればと思う。将来を見据え、しっかりとした計画を立てていただきたい。また、宅地造成が盛んに行われている状況だが、乱開発にならないようにしっかりと管理していただき、市長の計らいで子育て支援も充実し、南アルプス市に住みたいという方も増えている。山梨の中でも南アルプス市は人口が増えており、これから更に良い町になることは間違いのないと思っている。皆様からの貴重なご意見を出していただいて、次回 11 月下旬の会議にはアンケート結果も出ているので、それに基づいた話ができると思うので、ご協力をお願いします。

以 上